



荒木 政士議員

町独自の 農業振興策を!!

問 国政において現在議論されているTPP問題、土地改良事業費の削減と、厳しい農業環境の中、来年度に向けての町独自の農業振興策の考えを伺う。

答 (町長) 現在取り組んでいる中山間地総合整備事業の早期着工に向けての予算確保・戸別所得補償制度の周知を図り、農業所得の向上、中山間地直接払制度、農地・水・環境保全対策事業の取組み、耕作放棄地の発生抑制、鳥獣害防除緊急総合対策事業の取組み、生産部会への助成、栽培技術向上、認定農業者の育成新規就農者支援、高齢者等生きがい農業の推進、ナス等特産品の開発、さらなる充実、農地流動化事業、集落営農の推進を図り、低コストの農業

推進等の農業施策に取り組んでいく。

町管理の マイクロバスを!!

問 経済課で管理していたマイクロバスの廃止の経緯と対応について伺う。この件は、各生産部会からの研修等での必要性、意見、要望等があっており、新車の購入か研修時の補助等必要と思うが何らかの対応の考えを伺う。

答 (経済課長) 平成4年度転作関係の補助事業で購入(18年経過)老朽化が激しい点、不特定の方の運転で事故等の責任の所在など憂慮すべき点、経済課所管の利用が少ない点などの理由で、廃棄を申し出た。ちなみに利用回数は、平成20年度138回(農業関係40回)、平成21年度121回(農業関係32回)

答 (総務課長) 経済課の申し出を受け、各課と協議を行った。安全面など考慮し、今後は必要な研修等には、

各課・各費目で予算化して、民間のレンタカーなどを利用する事を考えている。

問 今の利用状況120回、140回をレンタカー利用では、300万〜400万位の金がかかる。新車購入でも500万あまりですむ。総務課管理でのバス購入の再考をお願いしたい。

答 (町長) バスの必要性はいろんな方面から多々聞かれるのも事実である。今一度執行部関係課と協議させていただく。又、生産部会等への対応も考えていく。

農業振興補助の 拡大を!!

問 農業振興補助(現在15%)の上積みをも以前も同様の質問をし、検討するとの答えであった。厳しい農業環境の中農業を守り、育てる為にもぜひ決断をいただきたい。

答 (経済課長) 我が町の補助制度は対象事業が広く、要望されたものには、予算額の確保に努力している。国・県等の補助対象事業を有効に活

用し、ソフト面、ハード面の両立を図り、支援を行ってきたい。

答 (町長) 今日利用のここ数年の資料・データ等整理し、過剰投資などいろんな角度から協議し来年度予算も考えていく。

万全な 鳥獣害防止対策を!!

問 鳥獣害防止総合対策事業の本年度の成果と、来年度への取り組みについて。

答 (事業課長) ハード事業で当初予算額、3,314万1,000円予定、結果電気柵、766万円(40地区102台)ワイヤーメッシュ柵、879万6,000円(17地区)合計1,646万3,000円。ソフト事業で60万円で、くくり罠80台購入、狩猟免許講習会助成9万8,000円(10名)などの事業に対応している。来年度事業には、11月末で、105件の申し込みがあつている。来年度においても農業振興の為、万全の策を講じていく。

定住促進策について

問 定住促進策については、ソフト面ではいろんな施策もやり、平野の宅地分譲も終り一定の成果は上がっている。新幹線開業に向けて、他市町においても様々な施策を打ち出している。町長も、三加和温泉ふれあいの森開発構想等大きな町の成長戦略をえがかれてはどうか?

答 (町長) ハード面においては、まず学校建設をしつかりとやり、学校跡地の有効活用、又、ふれあいの森開発については、検討委員会も立ち上がっており、県立大との包括協定等の中で、地元、先生方、若い学生等の意見を聞きながら将来に向けて検討していく。



『ふれあいの森』